

いわき市役所本庁舎耐震改修事業
設計・施工一括発注に係る
公募型プロポーザル

審査結果報告書

平成28年2月12日

いわき市役所本庁舎耐震改修事業
公募型プロポーザル選定委員会

いわき市役所本庁舎耐震改修事業公募型プロポーザル選定委員会は、いわき市役所本庁舎耐震改修事業（以下「本事業」という。）の設計・施工一括発注に係る事業者選定に関して、「設計・施工一括発注に係る公募型プロポーザル実施要領」に基づき、平成28年2月10日に技術提案項目及び提案金額について慎重に審査を行い、最優秀提案者を選定しましたので、選定結果及び講評等をここに報告します。

平成28年2月12日

いわき市役所本庁舎耐震改修事業公募型プロポーザル選定委員会
委員長 山ノ内 正司

1 選定委員会の構成

選定委員会の委員は、次の6名です。（敬称略 設置要綱順）

委員長 山ノ内 正司（福島工業高等専門学校 建設環境工学科 教授）

副委員長 松本 守利（いわき市土木部長）

委員 古河 司（一般財団法人福島県建築安全機構 専務理事）

委員 新妻 英正（いわき市行政経営部長兼危機管理監）

委員 荒川 正勝（いわき市総務部長）

委員 菊地 由之（いわき市土木部技監兼次長兼総合調整担当）

2 選定委員会の経過

選定委員会は、本事業の設計・施工一括発注先の事業者を公募型プロポーザル方式により、厳正かつ公平に選定するために設置されたものであり、本年2月10日の最優秀提案者の決定に至るまで、計3回の選定委員会を開催した。

(1) 第1回選定委員会 平成27年10月14日（木）

① 協議事項

ア いわき市役所本庁舎耐震改修事業設計・施工一括発注に係る公募型プロポーザル実施要領等について

(2) 第2回選定委員会 平成27年11月19日（木）

① 協議事項（一次審査）

ア 参加資格要件

イ 本プロポーザル参加にあたってのコンセプト

ウ 実績及び実施体制等

(3) 第3回選定委員会 平成28年2月10日（水）

① 協議事項（二次審査）

ア 審査方法等について

イ 書類審査

ウ プレゼンテーション・ヒアリング審査

エ 意見交換・最終審査

- オ 集計・提案価格評価表
- カ 審査結果発表

3 一次審査及び二次審査の概要

(1) 一次審査

2事業者から参加申込書の提出があり、提出を受けた書類等に基づき、慎重に審査した結果、両者とも参加資格要件を満たしていることを確認した。

(2) 二次審査

① 基礎的事項の確認

2事業者から技術提案書等の提出があり、事務局において次のとおり基礎的事項等についての確認を行い、選定委員会の了承を得た。

ア 提出書類

両者とも実施要領等に定める所定の条件に基づき作成されていることを確認した。

イ 要求水準

両者とも要求水準書等に定めた水準等に適合していることを確認した。

ウ 提案価格

両者とも提案価格が提案上限額の範囲内であることを確認した。

② 技術提案評価

プレゼンテーション・ヒアリング審査及び意見交換を踏まえ、技術提案の妥当性について委員間協議を行い、8つの評価項目により総合的に評価及び採点を行った。

4 審査結果

次の事業者を最優秀提案者（契約候補者）と選定した。

- 事業者名 大成建設株式会社東北支店
- 提案価格 5,881,000,000円

また、次の事業者を優秀提案者（契約候補次点者）と選定した。

- 事業者名 安藤・間・久米設計・加地和組特定建設工事共同企業体

5 講評

震災からの復旧・復興事業を背景とした建築資材や労務費の高騰等、公共事業における全国的な不調・不落の事例が相次ぐ昨今の社会情勢の中、本事業においては、耐震改修という高度な技術を要する工事に対し、2事業者より技術提案書等が提出された。

提出された技術提案書等は、それぞれ両者が持つ最新の高度技術による耐震改修工法のほか、要求水準書で求める浸水対策・防災機能向上・老朽化改

修に対する事業者独自の創意工夫がされた提案がなされ、それぞれ提案上限額内で達成できるものであり、独自性のある優れた提案内容であった。

本選定委員会では両者の提案内容を比較検討するにあたり、要求水準で求める「耐震性能の確保」並びに「庁舎機能の継続性」に着目し、耐震改修工法の技術的根拠の妥当性や、来庁する市民への影響及び市職員への負担等を考慮し、プレゼンテーション・ヒアリング審査及び委員間での意見交換を経て、最優秀提案者を選定したものである。

最優秀提案者として選定された技術提案については、液状化層を考慮した基礎下免震工法による耐震性能の確保や、工事中・工事後の庁舎機能の維持に配慮された提案内容であり、選定委員会の総意として選定されたものである。

なお、この結果を踏まえ、市においては事業契約の締結に向け、最優秀提案者との協議を速やかに行うことを期待するとともに、本事業の成果として、さらなる防災拠点としての機能向上を期待するものである。